岩幼だより（No.19）

令和３年２月19日
芦屋市立岩園幼稚園
園長　中塚　景子

学校評価アンケートにご協力いただきましてありがとうございました。９３人中９０人の方からご回答いただくことができました（回収率９７％）。全体的によい評価をいただき、職員一同、これからの取組について力をいただいております。集計結果と結果を受けて来年度からの岩園幼稚園の教育をどのように改善していくのかまとめましたので、ご報告いたします。

【表の見方】Ａ：よくあてはまる　Ｂ：あてはまる　Ｃ：あまりあてはまらない　Ｄ：全くあてはまらない
（パーセンテージは小数点以下３桁目を四捨五入）

Ⅰ 望ましい保育はできていますか

質問項目	A	B	C	D
① お子さんは幼稚園に喜んで通っていますか。	８３％（７５人）	１６％（１４人）	１％（１人）	０
② お子さんは行事や遊びを通して成長していますか。	９３％（８４人）	７％（６人）	０	０
③ お子さんは挨拶や片付けなど基本的な生活習慣を身に付けていますか	４４％（４０人）	５１％（４６人）	４％（４人）	０
④ お子さんは友達とのかかわりを深めていますか。	６４％（５８人）	３４％（３１人）	１％（１人）	０
⑤ お子さんは自分から行動する態度を身に付けていますか。	５２％（４７人）	４４％（４０人）	３％（３人）	０
⑥ お子さんは様々な表現活動を楽しんでいますか。	８１％（７３人）	１８％（１６人）	１％（１人）	０
⑦ 絵本に親しむ機会は増えましたか。	５９％（５３人）	４９％（４４人）	３％（３人）	０

幼稚園は、子どもが喜んで通うことが第一です。ほとんどの子どもが喜んで通ってくれていることは何よりですが、この点が１００％ではないということを園としては反省し、一人一人をよく理解し、ご家庭と連携し、どの子にとっても大好きな幼稚園になれるよう努力をしていかないといけないと考えています。

幼児期に、基本的生活習慣を身に付けることは根本的なことです。今年度はコロナ禍のため、できないこともありましたが、食習慣の点で、年長組がレジャーシートで弁当を食べる期間が長くなりました。この点につきまして、保護者の方からご指摘があり、すぐに机を利用する方法に変更いたしましたが、もう少し早い時期に見直しを図らないといけませんでした。生活習慣は子どもの一生にかかわることですので、丁寧に見ていきます。

Ⅱ 幼稚園として望ましい環境づくりができていますか。

質問項目	A	B	C	D
⑧ 幼稚園は子どもたちが心地よく過ごせる環境ですか。	９０％（８１人）	１０％（９人）	０	０
⑨ 幼稚園は子どもたちの豊かな感性や気づきをはぐくむ環境ですか。	９０％（８１人）	１０％（９人）	０	０

今年度は、子ども達の心が動き、子ども自らが考えながら遊べる環境を創っていこうと、「トキメキ」と「ヒラメキ」をキーワードに年間を通して職員で考え取り組んできました。自由記述の欄で『（登園時）園庭の環境を見て親もわくわくしました』という言葉をいただき、また、ほとんどの方から評価いただき、この方向で来年度も環境の見直しと再構成を図ってまいります。

Ⅲ 家庭や地域との連携について

質問項目	A	B	C	D	無回答
⑩ 行事等の参観を通して子どもの様子や幼稚園の取組が伝わってきますか。	６６％（５９人）	２９％（２６人）	６％（５人）	０	
⑪ ブログ，園だより，担任の話などで子どもたちの様子がわかりますか。	７９％（７１人）	１７％（１５人）	４％（４人）	０	
⑫ コロナ禍での，園の感染防止対策や対応について，十分にできていましたか。	７９％（７１人）	２１％（１９人）	０	０	
⑬ 幼稚園は家庭との連携を深めていますか。	７７％（６９人）	２２％（２０人）	１％（１人）	０	
⑭ 幼稚園は，地域の方に対して「子育て支援」や「保護者支援」ができていますか。	６３％（５７人）	３０％（２７人）	４％（４人）	０	２％（２人）

コロナ禍のため、保育参観や保護者会，オープンスクールや懇談会など，園行事やＰＴＡ活動が十分にできませんでした。その中で、運動会、音楽参観日、生活発表会は対応策を考え、開催することができたことについて、自由記述のところで多くの保護者の皆さんから感謝の言葉をいただきました。この３つの行事は幼稚園教育にとって、そこに至るまでのプロセスで子どもを育てる教育をしているので、無くすわけにはいかないと考えています。いろいろ検討し、開催できたことは本当によかったと思います。また、岩幼だよりでその意味について発信してきたことについても、評価をいただきありがとうございます。「わかりにくかった」方もいらっしゃいましたので、内容については今後検討してまいります。

また、地域に対しての「子育て支援・保護者支援」については、緊急事態宣言の発令等で幼稚園の地域への施設開放が十分にできませんでした。来年度、状況が落ち着きましたら、幼稚園主催の「わくわく広場」等、地域に向けた取組を進めたいと考えております。

Ⅳ 幼稚園全体としての幼児理解と指導の在り方について

質問項目	A	B	C	D
⑮ 幼稚園では，子ども同士の好ましい人間関係をめざした指導を行っていますか。	７７％（６９人）	２３％（２１人）	０	０
⑯ 子どもたちが集団生活のルールを身につけられるよう，幼稚園全体で取り組んでいますか。	８７％（７８人）	１３％（１２人）	０	０
⑰ 幼稚園では，子どもたちのよいところや得意なところを見つけて伸ばしていますか。	８４％（７６人）	１６％（１４人）	０	０

２年間の幼稚園教育を通して子ども達に願っていることは、「友達を好きになる」ことです。「自分の思い通りにならないことに対して自分の気持ちに折り合いをつけること」「友達に認められる喜びを感じること」「友達の頑張りを認め、自分も頑張ろうと思えること」また、「一つの共通の目標をもち、力を合わせて達成しようとする充実感を感じること」など。友達と一緒に遊びながら、これからの子ども達の人生にとって大切なことを実感してほしいと願って保育をしてきました。ほとんどの方から評価いただき、これからも職員みんなで、チーム保育を通して子ども達の成長のために努力してまいります。